

# 平成27年度 入試センター 自己点検評価報告書

- I. 入試センターの概要
- II. 学生募集広報
- III. 入学試験
- IV. 大学入試センター試験

平成28年5月16日版  
富山国際大学 入試センター

## I. 入試センターの概要

入試センターは、センター長1名、センター次長1名、参事2名、課長1名、主事2名、各学部の教員による入試対策委員で構成し、以下の事業を展開している。

### (1) 学生募集広報に関すること

本学の教育理念・教育目標を踏まえた各学部のアドミッションポリシー（入学者受入方針）を掲げ、学生募集活動を展開するとともに志願者確保、入学定員確保に取り組んでいる。

年間を通してWeb媒体、受験媒体、大学案内など各種学生募集広告業務、県内県外高校訪問による学生募集業務、業者主催進学相談会業務、オープンキャンパス業務、高校教員対象入試説明会業務、学校見学業務などを行っている。

### (2) 入学試験に関すること

本学が実施する入学試験の運営に関する業務を行い、出願書類受付業務、入学試験実施業務、可否関係業務を行っている。

平成28年度入学試験では、推薦入試（指定校制、公募制）、AO入試（I期）、一般入試（前期、後期）、特別奨学生選抜入試（前期、後期）、大学入試センター試験利用型入試（前期、中期、後期）、特別入試、海外協定校留学生入試、3年次編入学（3年次編入学、海外協定校3年次編入学、秋季入学）を実施した。

### (3) 大学入試センター試験に関すること

大学入試センター試験は、独立行政法人大学入試センターが毎年1月13日以降の最初の土曜日及び翌日の日曜日に実施する全国一斉に行う試験であり、大学入試センター試験を利用する大学が共同で実施している。本学も試験会場となっており、富山短期大学と共同で実施し、平成28年度大学入試センター試験は呉羽キャンパスで実施した。年間を通して準備を行い、試験の運営に関する業務を行っている。

## 2. 学生募集広報

### 1. 実績と現状

#### (1) 高校訪問

富山県内の高校・予備校を対象に、年間8回にわたり、学生募集広報活動を行った。

4月からの前半は、教員対象入試説明会参加依頼や推薦入試出願依頼、オープンキャンパス参加依頼などをしながら県内高校の動向を調査・分析し、11月の推薦入試の募集活動に取り組んだ。

12月からの後半は、訪問校を絞り込み、一般入試や特別奨学生選抜入試、大学入試センター試験利用型入試の出願依頼及び動向を調査し、募集活動に取り組んだ。

教員による県内高校訪問も年2回実施した。

また、学長、学部長、参事による特別高校訪問も実施した。

県外の高校訪問は新潟県、石川県、福井県、岐阜県、長野県を対象として年3回実施した。

#### (2) 学生募集イベント

年間を通して7回の学生募集イベントを実施した。内訳は、主に推薦入試志願者をターゲットとした「6月の進学説明会(6月)」、「オープンキャンパスⅠ・Ⅱ・Ⅲ(7・8・10月)」、「推薦入試直前説明会(10月)」、一般入試・特別奨学生選抜入試・大学入試センター試験利用型入試の出願者をターゲットとした「一般入試・特別奨学生選抜入試直前説明会(12月)」、新3年生をターゲットとした「3月進学説明会(3月)」である。

イベント毎にターゲットを絞って資料請求者等にDMを送り、参加者の動員を図った。

#### (3) 業者主催ガイダンス

平成27年度は、富山県内で開催されるガイダンス及び説明会を中心に参加すると共に、長野県の説明会にも参加した。

#### (4) 広告媒体

「受験生・保護者向け広告」、「高校教諭向け広告」、「地域・社会向け広告」に広報を区分し、広報展開した。

#### (5) 大学案内及び広報紙

資料請求者や進学説明会等で配布する大学案内を5月に発行し、様々な機会をとおして配布をおこなった。

高校訪問時の進路指導部情報提供用として広報紙「TUINS」を1回発行し、県内県外高校訪問時に大学の学生募集ツールとして活用した。その他に、資料請求者や進学説明会等で配布する「TUINS 情報」を作成した。

### 2. 課題

18歳人口の減少が始まる2018年問題に対応していくことが必要である。

### Ⅲ. 入学試験

#### 1. 実績と現状

##### (1) 入試結果

平成28年度入学試験は、大学全体では200名定員に対して入学者数183名（入学定員充足率91.5%）と入学定員を確保することができなかった。歩留率は、48.5%と過去7年間で最も低く50%を割った。現代社会学部は入学定員120名に対して入学者数94名（入学定員充足率78.3%）と5年連続の定員割れとなった。子ども育成学部は入学定員80名に対して入学者数89名（入学定員充足率111.3%）と4年連続の定員確保となった。両学部とも志願者が減少し、併せて歩留率が低下した。

#### 平成28年度富山国際大学入学試験結果

平成28年度 富山国際大学 入学試験																	
平成28年4月6日(水)入学式現在																	
学部	種別	平成28年度								平成27年度							
		定員	志願者	受験者	合格者	入学 試験者	入学者	歩留率	入学定員 充足率	定員	志願者	合格者	入学者	歩留率	入学定員 充足率		
現代社会学部	推薦	指定校制	20	14	14	14	14		14	100.0%		20	17	17	17	100.0%	
		公募制 (1期)	一般型(専願)	10	10	10	8	8		8	100.0%		10	12	11	11	100.0%
			一般型(併願)	5	2	2	2	2		2	100.0%		5	6	5	3	60.0%
			随活動型(併願)	20	17	17	17	17	1	18	94.0%		20	17	17	18	94.1%
		公募制 (2期)	一般型(専願)	若干名	6	6	6	6		6	100.0%		若干名	5	5	5	100.0%
	随活動型(専願)		若干名	3	3	3	3		3	100.0%		若干名	6	6	6	100.0%	
		【小計】	55	52	52	50	50	1	49	98.0%		55	63	61	58	95.1%	
	AO	AO入試(1期)	5	4	4	3	3		3	100.0%		5	2	1	1	100.0%	
		AO入試(2期)(H28試験中止)	-	-	-	-	-	-	-	-		若干名	1	0	0		
		【小計】	5	4	4	3	3	0	3	100.0%		5	3	1	1	100.0%	
一般・特別奨学・センター	一般入試	一般入試(前期)	22	45	45	42	18	1	17	40.0%		22	47	44	22	50.0%	
		特別奨学生選抜入試(前期)から一般入試(前期)合格				2	2		2	100.0%				2	1	50.0%	
		第二志望一般入試(前期)合格				6	1		1	17.0%				10	2	20.0%	
		一般入試(後期)	5	9	6	4	3		3	75.0%		5	6	5	3	60.0%	
		特別奨学生選抜入試(後期)から一般入試(後期)合格				1	0		0	0.0%				1	1	100.0%	
		特別奨学生選抜入試(前期)	若干名	5	5	3	3	1	2	67.0%		若干名	8	6	4	66.7%	
		特別奨学生選抜入試(後期)	若干名	3	3	2	2		2	100.0%		若干名	3	2	2	100.0%	
		センター試験利用型(前期)	25	65	65	56	9	2	7	13.0%		25	66	63	12	19.0%	
		第二志望センター試験利用型(前期)合格				3	0		0	0.0%				-	-	-	
		センター試験利用型(中期)	5	1	1	1	0		0	0.0%		5	6	4	2	50.0%	
センター試験利用型(後期)	3	5	5	5	2		2	40.0%		3	0	0	0				
	【小計】	60	133	130	125	40	4	36	29.0%		60	136	137	49	35.8%		
特別	外国人留学生1期・2期計	若干名	2	2	2	2	1	1	50.0%		若干名	6	4	4			
	社会人1期・2期計	若干名	0	0	0	0	0	0		若干名	0	0	0				
	帰国子女1期・2期計	若干名	0	0	0	0	0	0		若干名	0	0	0				
	海外協定校外国人留学生	若干名	10	10	9	5	0	5	56.0%		0	6	5	3	60.0%		
	日本語協定校外国人留学生	若干名	0	0	0	0	0	0		若干名	1	1	1				
	【小計】	若干名	12	12	11	7	1	6	55.0%		若干名	13	10	8	80.0%		
	【学部合計】	120	201	198	189	100	6	94	50.0%	78.3%	120	215	209	116	55.5%	96.7%	
子ども育成学部	推薦	指定校制	5	7	7	7	7		7	100.0%		10	7	7	7	100.0%	
		公募制	一般型(専願)	10	19	19	19	19		19	100.0%		10	20	17	17	100.0%
			一般型(併願)	5	3	3	3	3	1	2	67.0%		4	9	7	4	67.1%
			随活動型(併願)	若干名	2	2	2	2		2	100.0%		-	-	-	-	
		市町村連携型	若干名	1	1	1	1		1	100.0%		若干名	0	0	0		
		【小計】	20	32	32	32	32	1	31	97.0%		24	36	31	28	90.3%	
	一般・特別奨学・センター	一般入試	一般入試(前期)	27	57	56	42	26	1	25	60.0%		25	78	40	27	67.5%
			特別奨学生選抜入試(前期)から一般入試(前期)合格				12	6	3	3	25.0%				15	12	80.0%
			一般入試(後期)	5	4	4	4	1		1	25.0%		5	4	2	2	100.0%
			特別奨学生選抜入試(後期)から一般入試(後期)合格				2	2		2	100.0%				2	0	0.0%
特別奨学生選抜入試(前期)			若干名	20	20	8	7		7	88.0%		若干名	26	8	7	87.5%	
特別奨学生選抜入試(後期)			若干名	4	4	2	2		2	100.0%		若干名	5	2	2	100.0%	
センター試験利用型(前期)			24	101	101	76	14	4	10	13.0%		20	102	69	14	20.3%	
第二志望センター試験利用型(前期)合格						0	0		0	0.0%				-	-	-	
センター試験利用型(中期)			2	0	0	0	0		0	0.0%		4	6	2	0	0.0%	
センター試験利用型(後期)			2	9	9	9	7		7	78.0%		2	3	3	2	66.7%	
	【小計】	60	195	194	155	65	8	57	37.0%		56	224	143	66	46.2%		
特別	社会人	若干名	3	3	1	1	0	1	100.0%		若干名	0	0	0			
	【小計】	若干名	3	3	1	1	0	1	100.0%		若干名	0	0	0			
	【学部合計】	80	230	229	188	98	9	89	47.0%	111.3%	80	260	174	94	54.0%	117.5%	
	【総計】	200	431	427	377	198	15	183	49.0%	91.5%	200	475	383	210	54.8%	105.0%	
【三年次 編入学試験】																	
学部	種別	平成28年度								平成27年度							
		定員	志願者	受験者	合格者	入学 試験者	入学者	歩留率	入学定員 充足率	定員	志願者	合格者	入学者	歩留率	入学定員 充足率		
現代社会学部	編入学	一般公募制	2	2	1	1		1	100%		1	0	0				
		一般公募制(富山短期大学)	1	1	1	1		1	100%		0	0	0				
		一般公募制(外国人留学生)	0	0	0	0		0			0	0	0				
		協定校(2+2)	2	2	2	2		2	100%		0	0	0				
		転入学試験 協定校(2+2)	2	2	2	2		2			2	2	1	1	50.0%		
	【学部合計】	5	5	5	4	4	0	4	100%	80%	5	3	2	1	50.0%	20.0%	
子ども育成学部	編入学	一般公募制	5	5	5	3	3		3	100%		5	2	1	1	100.0%	
		一般公募制(富山短期大学)	1	1	1	1		1	100%		6	5	5	5	100.0%		
	【学部合計】	5	6	6	4	4	0	4	100%	80%	5	8	6	6	100.0%	120.0%	
	【総計】	10	11	11	8	8	0	8	100%	80%	10	11	8	7	87.5%	70.0%	

## (2) 入試制度の変更

### 1. 推薦入試

#### (1) 入試種別について

- ①子ども育成学部『公募制諸活動型（併願）』を実施

#### (2) 出願資格について

- ①子ども育成学部「公募制市町村連携型（専願）」に『小学校教諭、幼稚園教諭』を追加

#### (3) 募集人員について

<子ども育成学部>

- ①「指定校制（専願）」の募集定員を『10名』から『5名』に変更
- ②「公募制一般型（併願）」の募集定員を『4名』から『5名』に変更
- ③「公募制諸活動型（併願）」の募集定員を『若干名』募集

#### (4) 書類審査について

<子ども育成学部>

- ①「全推薦入試」で「70点満点」を「80点満点」に変更。

#### (5) 選考方法について

<子ども育成学部>

- ①「公募制諸活動型（併願）」で『小論文（資料提示形式 800字）、面接、書類審査』を実施

### 2. 一般入試・特別奨学生選抜入試

#### (1) 募集人員について

<子ども育成学部>

- ①一般入試（前期）の募集定員を『25名』から『27名』に変更

#### (2) 書類審査について

<子ども育成学部>

- ①一般入試・特別奨学生選抜入試（前期・後期）で配点を『40点満点』から『50点満点』に変更

#### (3) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

- ①旧教育課程履修者に対する経過措置は講じないこととした

#### (4) 「英語」と「国語」の出題範囲について

- ①英語 『コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ』とした
- ②国語 『国語総合（近代以降の文章）を出題範囲とし、「古文・漢文」は除く』とした

#### (5) 試験会場

- ①一般入試（前期）で長野会場（JA長野県ビル）を設置

### 3. 大学入試センター試験利用型入試

#### (1) 募集人員について

<子ども育成学部>

- ①センター試験利用型（前期）の募集定員を『20名』から『24名』に変更
- ②センター試験利用型（中期）の募集定員を『4名』から『2名』に変更

#### (2) 第二志望合格について

- ①センター試験利用型（前期）において第一志望とする学部以外に他学部を第二志望として設定することが出来るものとした

### (3) 書類審査について

<子ども育成学部>

①配点を『40点満点』から『100点満点』に変更

### (4) 旧教育課程履修者に対する経過措置について

数学の「工業数理基礎」については、平成27年度大学入試センター試験をもって出題が取りやめられたが、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者のために出題科目を残すこととなっているため、平成28年度大学入試センター試験利用型入試において旧教育課程履修者に対する経過措置として「工業数理基礎」を選択科目として設定した。

#### <経過措置>

教科	新教育課程により出題する科目	旧教育課程により出題する科目
数学	数学②の「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」の4科目のうちから1科目を選択。	数学②の「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」「工業数理基礎」の5科目のうちから1科目を選択。

## 4. 現代社会学部 AO入試

### (1) 入試種別について

①『AO入試(Ⅱ期)』を廃止

### (3) 入試対策拡大会議

入学試験合否判定案を審議する会議として、学長、学部長、学務部長、事務部長、入試対策委員、入試広報課員で構成され、計11回実施した。

### (4) 入試の管理・運営

本学の入試は、①入試問題作成、②試験実施、③採点、④合否判定資料作成、⑤合否判定資料念査、⑥学部連絡調整会議、⑦教授会、⑧入試対策拡大会議、⑨運営会議の順で試験を管理・運営している。

## 2. 課題

### (1) 2018年問題への対応

全国でも18歳人口の流出県である富山県において、18歳人口の減少が始まる2018年問題(富山県においては2020年より減少)を前に、地元富山県からの出願者を増加させる必要がある。

出口実績により、県内の進学動向が変化したことがうかがえる。出口実績が受験生に与える影響は大きく、今後両学部共に評価される実績を積んでいく必要がある。

### (2) 県内高校への対応

県内の動向としては、近年少なかった西部地区の受験生が両学部ともに微増している。

現代社会学部は、東部地区からの出願者数が多いが、距離が遠いから西部地区は少ないと結論づけるのではなく、通学距離が遠くても、県内で一人暮らしをしようとも、なりたい自分を実現させるために学びたい学部が東黒牧キャンパスにあると言われる学部になる必要がある。

子ども育成学部は、東部西部地区の中間に位置する呉羽キャンパスにあり、出口実績を継続していくことで東部地区の出願者数と同比率の出願者数を西部地区から獲得できるようにしなければならない。

地元志向だから本学を受験し入学するのではなく、なりたい自分になれる学部があるから本学を受験し入学するという目的意識の高い学生の確保が今後の課題である。

### (3) 入試の管理・運営について

入試の管理・運営について、効率的な入試業務スケジュールを行う一方で、ミスのない正確な入試業務を実行できるスケジュールを設定し、採点や合否判定資料などの念査機能体制の確立と念査方法の見直しを行った。

## 4. 大学入試センター試験

### 1. 実績と現状

大学入試センター試験は、富山国際大学と富山短期大学が共同で実施しており、富山国際大学試験場として270名の受験生を受け入れている。呉羽キャンパス試験場で3年目の実施となったが特に問題もなく実施することができた。

試験当日の公共交通機関について、JRについては西日本旅客鉄道富山地域鉄道部、路線バス及び臨時バスの運行については、富山地方鉄道自動車部運行管理課に協力を依頼した。

除雪について、富山県土木部道路課、富山県富山土木センター施設管理課、富山市役所建設部道路河川管理課に県道及び市道の除雪の協力を依頼するとともに、呉羽キャンパスの冬期除雪を委託している近藤建設株式会社にキャンパス内の除雪を依頼した。

試験場の警備については、富山西警察署（交通課、警備課）に協力を依頼した。

呉羽キャンパスのある願海寺・野々上地区の住民の方には、事前に自治会会長を通じて呉羽キャンパスで大学入試センター試験を実施する旨を伝え、試験当日の受験生送迎に係る車の渋滞に理解を求めた。

試験実施前には、試験監督者説明会（H27.12.28（月））、事務職員説明会（H28.1.13（水）-14（木））、リスニング演習（H28.1.4（月））を行った。

### 2. 課題

試験前日、試験当日に校内の除雪、試験終了後の送迎車によるキャンパス周辺の渋滞など、近隣住民に理解を求めるなどの事前調整が必要である。

試験監督者及び事務職員に事前説明会等を実施しているが、業務内容の周知徹底が必要である。

試験監督者は、受験生を不安にさせないよう十分に要項を読み込む必要がある。

また、センター試験業務は、年間を通して膨大な業務があるが、全体を把握している職員は少なく、今後若手職員の育成を進めていかなければならない。